

天竜区特別委員会協議事項

〔 令和 8. 5. 29 (金) 午前 10 時
於：市役所 8 階第 1 委員会室 〕

1 新たな仕組づくりについて

2 座談会の実施について

3 その他

天竜区特別委員会案

●●●●委員会 活動マニュアル(案)

— 天竜区の持続可能性を支える議会の新しい仕組み —

令和〇年〇月

浜松市議会 天竜区特別委員会

天竜区特別委員会案

第1章 総則……………6月

- 1-1 目的
- 1-2 委員会の基本的役割
- 1-3 基本原則(透明性・継続性・住民中心・検証性・改善性)

会派	主な意見
市民クラブ	記載なし
創造・国民	記載なし
公明党	「提案・理由」を明確化すべき
日本共産党	「マニュアルの位置づけ」を明確化
市政向上	「作成の目的」を明確化

第2章 背景と理念……………6月

- 2-1 天竜区の現状
- 2-2 中山間地域振興計画の限界
- 2-3 議会が担うべき視点(生活実感・地域差・構造課題)

会派	主な意見
市民クラブ	「委員会設置の理由」の明確化
創造・国民	記載なし
公明党	記載なし
日本共産党	「マニュアルの位置づけ」を明確化
市政向上	「作成目的」を明確化

第3章 分析フレーム(三層構造 × 五つの柱)……………6月

- 3-1 三層構造(ミクロ・メゾ・マクロ)の定義(micro=小さい、mezzo=中間、macro=全体)
- 3-2 三層構造の判定基準
- 3-3 五つの柱(政策視点)の整理
- 3-4 三層構造と五つの柱の対応表
- 3-5 課題整理の手順(ミクロ→メゾ→マクロ)

天竜区特別委員会案

会派	主な意見
市民クラブ	現地調査、課題抽出
創造・国民	特別委員会での協議(現地調査・課題抽出)
公明党	進捗確認、制度検証
日本共産党	進捗状況の管理方法
市政向上	テーマ設定、先進事例調査、データ収集、報告書作成

第4章 活動サイクル(2年間1サイクル)……………7月

- 4-1 2年1サイクルの目的
- 4-2 第1期(前半:約1年)
- 4-3 第2期(中盤:約半年)
- 4-4 第3期(後半:約半年)
- 4-5 年間スケジュール

会派	主な意見
市民クラブ	記載内容の支持
創造・国民	記載内容の支持
公明党	年間活動計画の重視
日本共産党	記載内容の支持
市政向上	ロードマップの重視

第5章 住民対話の制度化……………7月

- 5-1 対話対象(地区別・テーマ別・産業別・若者・移住者・NPO)
- 5-2 年間対話計画(必須回数・地区別の実施)
- 5-3 対話会の進め方(開会→質問→整理→説明)
- 5-4 記録方法(住民意見記録台帳の使い方)
- 5-5 整理方法(三層構造 × 五つの柱)
- 5-6 公表方法(反映状況の公開)
- 5-7 KPI(開催回数・参加者数・反映率・満足度)

天竜区特別委員会案

会派	主な意見
市民クラブ	テーマを絞った意見交換会
創造・国民	勉強会・座談会・現地調査
公明党	現状確認(現地調査・意見聴取)→地域への報告
日本共産党	座談会・ヒアリング・報告会
市政向上	地域住民、関係者ヒアリング、座談会、報告会

第6章 KPI(行政 KPI × 議会 KPI × 二重評価)……………8月

- 6-1 行政 KPI の扱い方
- 6-2 議会 KPI の設定方法
- 6-3 二重評価の手順
- 6-4 KPI 評価の記録方法

会派	主な意見
市民クラブ	記載なし
創造・国民	記載なし
公明党	記載なし
日本共産党	記載なし
市政向上	記載なし

第7章 組織体制……………8月

- 7-1 委員長の役割
- 7-2 副委員長の役割
- 7-3 委員(テーマ別担当)の役割
- 7-4 事務局の役割
- 7-5 引き継ぎルール(委員交代に備える)

会派	主な意見
市民クラブ	記載なし
創造・国民	記載なし
公明党	記載なし
日本共産党	記載なし
市政向上	「委員構成」について記載あり

天竜区特別委員会案

第8章 行政との連携……………8月

- 8-1 行政との情報共有の方法
- 8-2 行政施策の照合手順
- 8-3 文書依頼の標準文例(情報提供依頼・照会・改善要望)
- 8-4 行政説明の受け方(確認すべきポイント)

会派	主な意見
市民クラブ	担当部局との協議、予算反映
創造・国民	改善提案、政策提案、最終更新
公明党	執行部への提言
日本共産党	担当職員ヒアリング、委員間協議、予算提言、報告書提出
市政向上	担当職員ヒアリング、委員間協議、予算案への提言、報告書提出

第9章 リスク管理……………8月

- 9-1 住民意見の偏り
- 9-2 行政の非協力
- 9-3 委員の活動量の差
- 9-4 委員交代による継続性の喪失
- 9-5 各リスクの対応策(標準化・多様化・文書化)

会派	主な意見
全5会派	記載なし

第10章 マニュアル更新……………8月

- 10-1 2年ごとの見直し
- 10-2 住民意見の変化に合わせた更新
- 10-3 行政施策の変化に合わせた更新
- 10-4 改訂履歴の残し方

会派	主な意見
市民クラブ	記載なし
創造・国民	記載なし
公明党	マニュアルの位置づけ
日本共産党	記載なし
市政向上	ロードマップの重視

天竜区特別委員会案

様式集(テンプレート).....9月

- 様式 1: 総括
- 様式 2: 住民意見整理(ミクロ)
- 様式 3: 地域別課題整理(メゾ)
- 様式 4: 構造課題・行政施策の検証(マクロ)
- (記入例・記入ルールつき)

様式	名称	主な内容	対応する会派意見
様式1	総括シート	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会全体のまとめ ・三層構造の全体像 ・住民意見の要点 ・行政施策との照合 ・改善提案(案) 	市政向上: 目的の明確化 公明党: 位置づけの明確化
様式2	住民意見整理(ミクロ)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域別の住民の声 ・生活実感の整理 ・五つの柱で分類 ・委員コメント 	市民クラブ: 住民意見重視 共産: 住民意見の位置づけ
様式3	地域別課題整理(メゾ)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域差の整理 ・共通課題と固有課題 ・優先度(高・中・低) 	創造・国民: 現地調査・課題抽出 市民クラブ: 課題抽出
様式4	構造課題・行政施策の検証(マクロ)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政施策の現状 ・住民意見とのギャップ ・改善提案 ・行政協議結果 	公明: 行政との照合・制度検証 市政向上: 行政との協議・提言 共産: 行政施策の検証

各会派マッチング一覧表

○…記載がある、—…記載がない

章	市民クラブ	創造・国民	公明党	日本共産党	市政向上	検討月
1章 総則	—	—	○	○	○	6月
2章 背景と理念	○	—	—	○	○	6月
3章 分析フレーム	○	○	○	○	○	6月
4章 活動サイクル	○	○	○	○	○	7月
5章 住民対話の制度化	○	○	○	○	○	7月
6章 KPI	—	—	—	—	—	8月
7章 組織体制	—	—	—	—	○	8月
8章 行政との連携	○	○	○	○	○	8月
9章 リスク管理	—	—	—	—	—	8月
10章 マニュアル更新	—	—	○	—	○	8月
様式						9月

【天竜区特別委員会 マニュアル検討の進め方(案)】

本委員会では、天竜区の持続可能性を高めるための「委員会の仕組み(標準マニュアル)」を、委員全員で検討し、標準化することを目的として、次の手順で議論を進め、本年 10 月末を目途として策定する。

1. 検討の基本方針

- ・「項目(章立て)」を提示する。
- ・委員の負担を最小限にしつつ、主体的に意見を出しやすい形で進める。
- ・項目 → 目的 → 内容 → 様式 の順に段階的に検討する。
- ・委員交代時にも継続できる仕組みづくりを目指す。

2. 検討ステップ(全 5 回)

【第 1 回】項目(章立て)の確認 … 5 月中

- ・提示: 章タイトル一覧(A4 一枚)
- ・内容: 章の必要性、順番、抜け漏れの確認
- ・成果: 章立ての確定

【第 2 回】各章の「目的」の確認 … 6 月中

- ・提示: 章タイトル+目的(1 行説明)
- ・内容: 各章が何を達成するために存在するかを確認
- ・成果: 目的の確定(内容検討の前提づくり)

【第 3 回】内容の検討(前半) … 7 月中

- ・提示: 本文
- ・内容: 総則、背景、分析フレーム、活動サイクル、住民対話
- ・成果: 委員会の基礎部分の確定

【第 4 回】内容の検討(後半) … 8 月中

- ・提示: 本文
- ・内容: KPI、組織体制、行政連携、リスク管理、更新ルール
- ・成果: 運用面の仕組みの確定

【第5回】様式の確認 … 9月中

- ・提示:様式1~4(総括/マイクロ/メゾ/マクロ)
- ・内容:記入項目の妥当性、実務での使いやすさ
- ・成果:実務ツールの確定

【第5回】標準マニュアルの確定 … 10月中

- ・標準マニュアル全体の再確認及び確定

3. 委員への提示方法

- ・各回の資料はA4一枚にまとめ、負担を最小化する。
- ・内容の提示は段階的に行う。
- ・各回の議論ポイントを明確にし、意見を出しやすくする。
- ・委員の意見は事務局で整理し、次回資料に反映する。

4. 期待される効果

- ・委員が主体的に議論できるようにする。
- ・理解の段階差があっても議論が成立する。
- ・委員交代があっても検討プロセスが継続できるようにする。
- ・最終的に、委員会全体で合意形成された仕組みが完成する。

5. 策定期間

- ・令和8年10月末までを目途とする。

マニュアル（案）記載内容、目的・理由、スケジュール

会派名 市民クラブ

	記載内容	目的・理由	月
1	〇〇委員会の設置について	目的、委員定数、任期、正副委員長、事務局機能としての議会事務局の役割などを定める 委員の選出	5月
2	行政から天竜区の課題把握について	座学と現地調査を通じて、行政が把握している各5地区の課題や住民ニーズを確認する	6－7月
3	住民から天竜区の課題を確認する	住民懇談会を通じて各5地区の課題や優先順位を確認する	8－9月
4	〇〇委員会にて課題整理を行う	浜松市総合計画、中山間地域振興計画における課題の位置づけ・方向性を確認 関連する法制度における対応を確認 行政側との話し合いによる課題対応の経緯を確認 必要に応じて現地視察・5地区の住民との話し合い	10-12月
5	〇〇委員会にて課題に対する方向性を検討	他市町における類似課題対応も参考に対応の方向性（案）を決める	1－2月
6	検討した方向性（案）を住民懇談会で説明する	検討した課題対応の方向性（案）を説明し、5地区の住民からの意見をもらう	3－4月
7	〇〇委員会にて、方向性（案）の再検討	住民からいただいた意見も加味した課題対応の方向性（案2）を検討	5－6月
8	検討した方向性（案2）を住民懇談会で説明する	再検討した課題対応の方向性（案2）を説明し、5地区の住民からの了承をもらう	7－8月
9	〇〇委員会 市長宛ての提言まとめる	次年度予算へ反映するために市長宛てに委員会提言としてまとめる	9-10月
10	議会運営委員会にて提言内容の確認・承認	〇〇委員会がまとめた提言案を議会として確認・承認すべく、議会運営委員会にて審議	10月

11	〇〇委員会の提言を市長に提出	次年度予算編成の参考するため提出のタイミングが肝要	10月
12	〇〇委員会としての意見書作成	課題解決のための法整備に向けた意見書を作成	11月
13	意見書の採択	議会として意見書を採択	12月
14	住民に対する成果報告会	課題対応の方向性の結果としての次年度予算反映状況、意見書提出状況を説明し、合わせて積み残し課題の確認を行う	3月
15	議会としての共有	年度末の全員協議会において〇〇委員会の報告の中で、課題対応の結果、積み残し課題等の報告を行い、市議会として共有する	3月

※ 行が不足する場合は追加して記載してください。

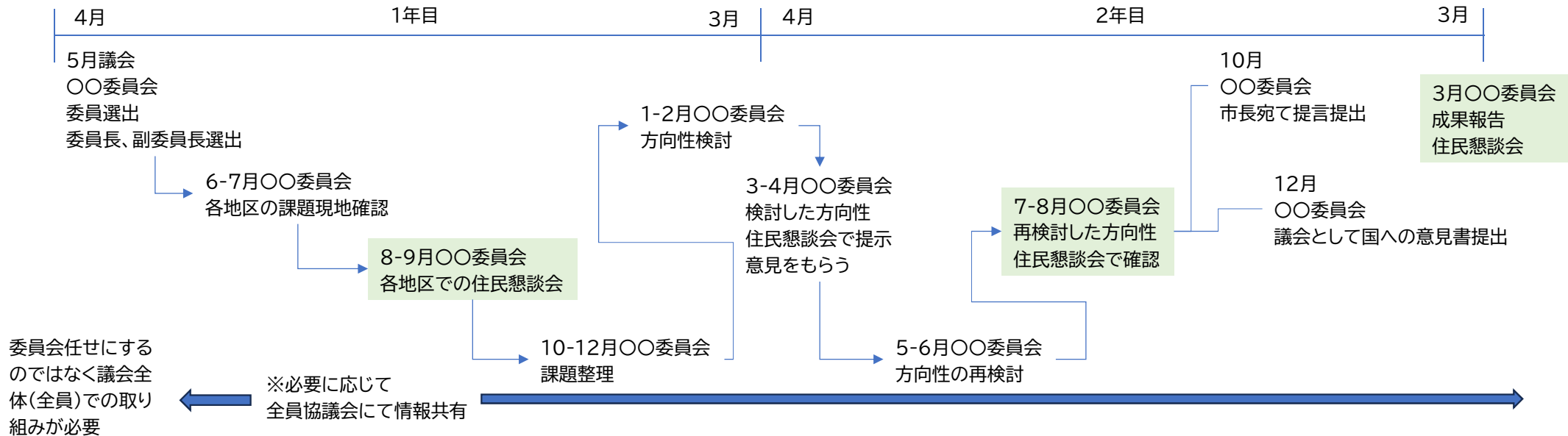
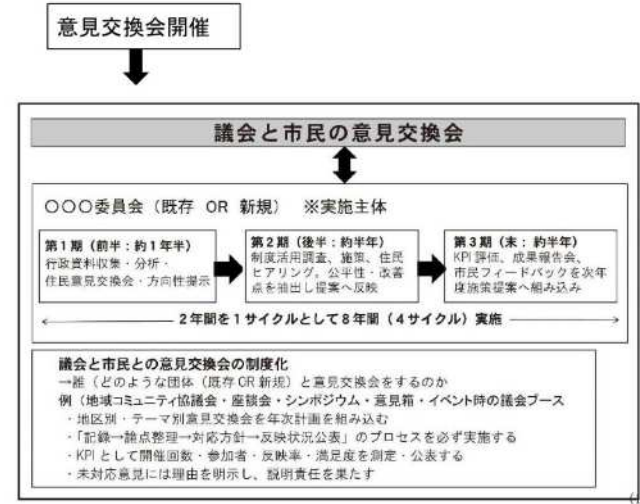
天竜区の仕組みづくり 市民クラブ案

4 活動の方向性と仕組み

実施活動計画は、2年間を1サイクルとして設計し、このサイクルを繰り返すことで、課題の把握・制度監督・成果説明・住民フィードバックを循環的に実施し、継続的な改善を積み重ねる。これを実施する組織(既存・新設)は、8年間(4サイクル)を継続することで、長期的に課題を蓄積し、改善を制度化することとする。

- ・第1期(前半:約1年)
行政資料収集(勉強会含)・課題整理(区民意見含)・分析 → 課題整理・方向性提示
- ・第2期(中盤:約半年)
各制度活用調査・施策検証・区民意見 → 進捗状況確認・改善提案
- ・第3期(後半:約半年)
KPI評価・成果報告会(区民含) → 次年度施策へ反映

■概略イメージ(2年間1サイクルとし、8年間4サイクル)



《提案》次期天竜区特別委員会には、今期の経験議員のうち少なくとも半数の議員が参加したい。
 〈理由〉視察と課題に携わった委員が、継続的に関わることで天竜区の課題解決に臨めるため。

<年間活動計画>

活動を前期（課題整理）と後期（改善提案）に分け、以下の流れで進める。

〈時期〉	〈記載内容〉	〈目的・理由〉
4月－5月	勉強会	5地域の状況、課題を認識する
6月－8月	座談会（区民との勉強会含む） 課題場所視察	区民の意見集約 地域課題の情報整理
9月－11月	進捗確認・制度検証	区民の意見を反映させた施策協議
12月－3月	改善提案または政策提案・最終報告	議会報告、住民説明会

*住民の意見集約方法、座談会について

- ・住民参加を基本として徹底し、ご意見箱やライン（又はQRコード、メール）等での意見要望を受付け集めること。座談会に出席できない方の意見もあらかじめ集めて代表が述べるなどの機会を持つ。
- ・中高生などの若者、事業者、医療従事者、山里いきいき隊のメンバーなど幅広い分野の方の意見も聴く機会を持つ。
- ・高齢者の生活実態調査と直接意見を聴く視察も必要と考える。

*実施手順

1. 5地域に委員が出向き、住民から直接意見聴取をする。
2. 現場視察を行い、要望を当局に持ち帰り協議する。
3. 報告会で事業進捗を共有し、コミュニティ協議会設置支援も検討する。
4. 成果を市議会で提言し、区民に説明責任を果たす。

*運用について、

- ・マニュアルは柔軟に運用し、議会・行政改革として位置付ける。
- ・日ごろ、議会・行政と接点のない住民も巻き込み、天竜区住民の意見等を網羅できるよう工夫をする。

*その他

- ・可能な限り全住民からの意見聴取ができるよう、職員にも協力を求め、小グループの懇談会を年1回計画する。会場は、近隣の個人宅等を活用。

マニュアル（案）記載内容、目的・理由、スケジュール

会派名 創造浜松・国民民主党浜松

	記載内容	目的・理由	月
1	特別委員会内での協議	現地調査での課題抽出	6
2	課題ごとの担当部局からの現状と協議	課題解決の優先順位	7
3	地域住民等とのテーマを絞っての意見交換会	実施事業状況への理解	8
4	次年度予算への反映についての協議	事業の優先順位協議	9

※ 行が不足する場合は追加して記載してください。

マニュアル（案）記載内容、目的・理由、スケジュール

会派名 日本共産党浜松市議団

	記載内容	目的・理由	月
1	現状の確認（現地調査、意見聴取）	現状の正確な把握	7
2	マニュアルの位置づけ	他の計画との整合性	8
3	進捗状況の管理方法、把握	計画の到達	9
4	執行部に対する提言	実効性の確保	10
5	地域への報告	計画に基づく実施状況	10

※ 行が不足する場合は追加して記載してください。

マニュアル（案）記載内容、目的・理由、スケジュール

会派名 浜松市政向上委員会

	記載内容	目的・理由	月
	作成の目的、ロードマップ、委員構成		
1	テーマ設定 課題抽出、データ・情報の収集	2年間の調査するテーマを設定するための準備	
2	地域住民、関係住民、担当職員へのヒアリング	テーマによって、ヒアリング対象者を選定	
3	先進事例の調査		
4	中間報告		3月
5	地域住民、関係住民との座談会		
6	担当職員、委員間での協議		
7	予算案への提案		8月
8	報告書作成		
9	当局への報告書提出		
10	地域住民、関係住民への報告会		
11			

今回各地域を視察して

- 1、地域ごとの課題もあるが、区全体、市全体としての課題があった。
例えば、林道、水源、などは区全体、市全体として考えるべきではないか。地域ごとの課題はどうしたらいいか
→区全体の課題は、特別委員会だけでなく、常任委員会にも情報提供して検討していくようにできないか。
- 2、天竜区のデータが不足している。全体の数字だけでは、天竜区の課題が見えてこない。
例えば、高齢化率は出ているが、介護保険の区分ごとの数字を他の区に比べてどうなっているか。（友愛の高齢者プランには区ごとのデータがないし、対応策がない）その受け皿はどうなっているのか
- 3、天竜区の方から、マニュアルという言葉に抵抗感がある。マニュアルというと絶対に従わないといけないという感じがすると。
→ガイドラインとか、手引きにしたらどうかと。

天竜区特別委員会での座談会の実施について

1 趣旨

新たな仕組みをつくるため、4月に実施した現地調査に引き続き、天竜区の各地区の現状や課題、地域の想い等を改めてお聞きするため、座談会を実施する。

2 実施概要

(1) 目的

- ・天竜区（5地区）それぞれの課題をより正確に把握する。
- ・議会との対話の機会の活用について地域の声を確認する。

(2) 実施形態

項目	内容												
①対象	・天竜区（5地区）												
②座談会の出席者	以下のような各地区で取組をしている方 <ul style="list-style-type: none"> ・自治会を代表する方 ・地域で活動する NPO 法人の方 ・天竜区区協議会の委員の方 等 												
③開催時期	<table border="1"> <thead> <tr> <th>日程</th> <th>地区</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月29日午前</td> <td>春野地区</td> </tr> <tr> <td>同日午後</td> <td>天竜地区</td> </tr> <tr> <td>7月2日午前</td> <td>佐久間地区</td> </tr> <tr> <td>7月3日午前</td> <td>水窪地区</td> </tr> <tr> <td>同日午後</td> <td>龍山地区</td> </tr> </tbody> </table>	日程	地区	6月29日午前	春野地区	同日午後	天竜地区	7月2日午前	佐久間地区	7月3日午前	水窪地区	同日午後	龍山地区
日程	地区												
6月29日午前	春野地区												
同日午後	天竜地区												
7月2日午前	佐久間地区												
7月3日午前	水窪地区												
同日午後	龍山地区												
④テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・議会の新たな仕組みづくりについて ・地域の方が考える課題について ・議会との対話の機会の活用について 												
⑤実施方法	・冒頭は公開し、その後非公開												